

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	一般用医薬品販売制度実態把握調査事業		担当部局庁	医薬食品局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度		担当課室	総務課		課長 鎌田 光明	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-6-2 医薬品等の品質確保の徹底を図るとともに、医薬品等の安全対策等を推進すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	薬事法の一部を改正する法律案に対する附帯決議 (平成18年4月18日 参・厚生労働委員会)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	改正薬事法の趣旨を踏まえ、新たな一般用医薬品販売制度の実効性を確保するため、国民の立場から改正法の遵守状況を点検・調査することにより、医薬品販売の適正化を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	新たな一般用医薬品販売制度の定着状況を把握するため、一般消費者としての調査員を選定し、全国の薬局、店舗販売業者等を訪問の上、その店頭等において覆面で調査を実施した。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	18	23	20	18	18
		補正予算					
		繰越し等					
	計	18	23	20	18	18	
	執行額	22	15	18			
執行率(%)	122%	65%	90%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	新たな一般用医薬品販売制度の定着状況を把握することを目的とする事業であるため、定量的な指標を設定することはできない。			22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	成果実績		達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	全国で一定規模を目処に、①薬局及び店舗販売業者等店舗の訪問調査、②薬局等が開設するインターネットサイトの調査、③配置による医薬品販売の調査を実施することを活動指標とする。			22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	活動実績(当初見込み)			47都道府県 7,081店舗等 (6,750店舗等)	47都道府県 6,417店舗等 (6,750店舗等)	47都道府県 6,790店舗等 (6,750店舗等)	- (6,750店舗等)
単位当たりコスト	約2,613(円/店舗等)		算出根拠	○平成24年度 執行額÷活動実績=17,745千円÷6,790≒2,613(円/店舗等)			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	医薬品審査等業務庁費	18	18				
	計	18	18				

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	改正薬事法の定着状況を把握し、医薬品販売の適正化を図ることを目的とする事業であり、国民の関心が高く、また国費により実施すべきものである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	薬事法改正による新たな一般用医薬品販売制度の定着状況を把握するものであり、国が実施すべき事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	改正薬事法の定着状況を把握し、医薬品販売の適正化を図ることを目的とする事業であり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先は、総合評価落札方式により選定しており、選定方法は妥当といえる。なお、今後必要に応じて仕様を見直す等、より競争性を確保してまいりたい。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	改正薬事法の定着状況を適正に把握できるよう客対数の増加に努めており、単位当たりのコスト水準は妥当であると考えられる。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	費目・使途は、事業実施に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込みに見合ったものとなっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	成果物は、HPなどで公表し、各方面でご活用いただいている。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	事業点検を踏まえ、平成25年度以降も継続的に改正薬事法の定着状況の把握に努めるとともに、調査対象や手法などについて、より効果的・効率的な調査手法を検討する。				
外部有識者の所見					
外部有識者による点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	本事業は、医薬品販売の適正化を図るため、一般用医薬品販売制度の定着状況把握に必要な経費であり、引き続き適切な予算措置に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
○一般用医薬品販売制度定着状況調査結果の公表(厚生労働省HP) http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iyakuhin/ippanyou/index.html					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	205	平成23年	182	平成24年	151

厚生労働省  
18百万円  
【一般用医薬品販売制度定着状況調査】

【総合評価落札方式】

A. ソフトブレイン・フィールド(株)  
18百万円  
【一般用医薬品販売制度定着状況調査の請負】

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

費目・用途 <small>(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)</small>	A.ソフトブレイン・フィールド(株)			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	雑役務費	一般用医薬品販売制度定着状況調査 一式	18			
	計		18	計		0

支出先上位10者リスト

A. ソフトブレイン・フィールド(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ソフトブレイン・フィールド(株)	一般用医薬品販売制度定着状況調査	18	1	89%